



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

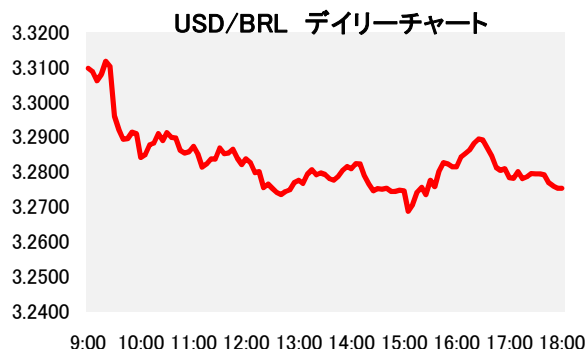
1. マーケット・レート

			6月8日	6月9日	6月12日	6月13日	6月14日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2620	3.2970	3.3190	3.3140	3.2750	-0.0390
	BRL/JPY	Spot	33.70	33.47	33.12	33.21	33.45	+0.24
	EUR/USD	Spot	1.1228	1.1195	1.1206	1.1209	1.1219	+0.0010
	USD/JPY	Spot	109.81	110.32	109.94	110.06	109.57	-0.49
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	9.372	9.262	9.215	9.245	9.223	-0.022
	Future	1Year(p.a.)	9.224	9.071	9.040	9.074	9.057	-0.017
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.169	2.176	2.257	2.243	2.221	-0.022
	USD	1Year(p.a.)	2.355	2.393	2.460	2.449	2.428	-0.021
株式	Bovespa指数		62756	62211	61700	61829	61923	94
CDS	CDS Brazil 5y		236.90	237.12	237.30	235.83	230.22	-5.61
商品	CRB指数		176.098	176.765	175.930	175.835	173.024	-2.81

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

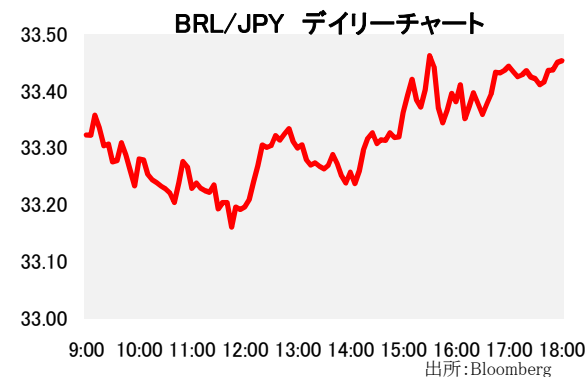
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGVインフレ率IGP-10(前月比)	-0.5%	-0.6%	-1.1%
IBGEサービス部門売上高 前年比	-5.8%	-5.6%	-5.2%
(米)FOMC政策金利(上限)	1.3%	1.3%	1.0%
(米)消費者物価指数(前月比)	0.0%	-0.1%	0.2%
(米)小売売上高速報(前月比)	0.0%	-0.3%	0.4%
(米)MBA住宅ローン申請指数	--	2.8%	7.1%
(米)CPI除食品・エネルギー(前月比)	0.2%	0.1%	0.1%



3. 要人コメント

イエレン米FRB議長	経済が予想通りに展開すれば、金融当局はバランスシートの縮小を比較的早期に実施する可能性がある。
------------	---



4. トピックス

- 本日のレアルは3.3110で寄り付いた。直ぐさま日中安値となる3.3120を付けたが、5月の米小売売上高が前月比0.3%低下、市場予想を大きく下回ったことでドルが対主要通貨で大きく下落する中、レアルは3.28台へ上昇した。その後米FOMCを控えて同水準で小幅に推移した後、日中高値となる3.2670まで上昇。予想よりもタカ派と見られた米FOMCの発表を受けてレアルは一時的に3.29台前半まで小緩んだ後、結局3.2750でクローズした。
- 米FOMCはフェデラルファンド金利誘導目標を0.25%引き上げ、1-1.25%とした。年内の追加利上げはあと1回との見通しを維持。また4兆5000億ドルに及ぶ保有証券の縮小計画に関して付属文書を用いて詳細を示したが、縮小プロセスの開始時期には言及しなかった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。